

地域ブロック：中部

ルート名称：ぐるり・富士山風景街道

活動名称：富士山への眺望阻害看板の撤去と集約化に関する活動

1. 活動の概要

(1) 活動内容

①富士山への眺望の確保、道路景観の向上の活動

- ・屋外広告物点検
- ・看板撤去



平成 19 年度民間・市の看板など6基の撤去



平成 20 年度は県の看板、1基の撤去



平成 21 年度民間看板など5基の撤去



(2) 活動による成果・効果

- ・国、県、市と自治会、NPO 等が協働で実施する体制ができた。
- ・眺望や景観を阻害するものがなくなり景観が向上した
- ・住民の方々の看板、景観をよくしようという意識が高まった

(3) 活動のきっかけ、目的・目標

- ・平成 17 年度から国道 139 号道路景観のワークショップ会議を開催し、地域活性化、観光振興に寄与する道路景観施策について行政はもとより、自治会、NPO、各種団体が検討してきた。その内容の一つとして景観、特に富士山への眺望を阻害する看板についての撤去を行うこととなった。
- ・不要看板の撤去のほかに必要な看板の集合化、また地域のイメージアップに寄与する良好な

- デザインの創出を目指す
- ・ガイドラインなどの地域ルール化の検討

2. 取り組み内容

(1) 活動を行うに当たっての主な課題

①看板撤去

- ・既存看板の所有者との調整

②看板集約化と地域のイメージアップとなる看板デザインの創出

- ・集約化をするための所有者との調整
- ・デザイン案等の作成費用
- ・デザイン案の地元との調整方法

③沿道景観形成ガイドライン

- ・必要であるという地元からの声をどのように実現化するのか

(2) 具体的取り組み内容

①朝霧地区道路景観形成ワークショップ会議

イ) 平成 18 年度：屋外広告物点検モデルプログラム（A グループ 10 人）

- ・国立公園、県、市等の規制についての勉強会
- ・沿道景観形成ガイドライン項目作成
- ・国道 139 号沿いの広告物・看板の点検

ロ) 平成 19 年度：看板サイン部会の活動（20 人）

- ・看板整備の考え方の整理
- ・木曾路(国道 19 号)・権兵衛トンネル(国道 361 号)視察
- ・モデル事業(看板撤去)の実施 20 年 3 月、5 月に(別紙参照)

ハ) 平成 20 年度：

- ・国土交通省社会実験「みはらしトホリントレイルシステム」の実施

ニ) 平成 21 年度：ワークショップ会議の実施

- ・「富士山の日」制定記念の看板撤去事業

②看板撤去

イ) 平成 19 年度：

- ・6 基の看板撤去
- ・参加人数 20 名
- ー自治会、民間企業、富士宮市の看板の撤去
- ー看板点検を行い、ワークショップ会議内で撤去できそうな看板について検討する
- ー会議参加企業、参加した自治会長さんなどが協力し実施
- ー撤去の際は国、県、市、自治会、NPO 等が協力する

ロ) 平成 20 年度：

- ・静岡県歓迎塔の看板撤去 1 基
- ー山梨県と静岡県の境界にある歓迎塔

- ー充分使用できるものであったが、富士山の眺望を阻害する位置に立っていたことと、デザイン（頭上に富士山のモニュメント付き）がそぐわないのではないかと地元の意見から静岡県が撤去
- ー地元からは境界を示すサインは必要であるとの意見。ただ地域のイメージあったものの設置を望む声が高い。

h) 平成 21 年度：

- ・ 5 基の看板撤去
- ・ 参加人数は 20 名
- ・ 「富士山の日」が制定されたことを受けて地区でも景観向上アクションを起こす
- ・ 富士宮市と地元が中心となり、撤去できそうな看板について所有者と調整
- ・ 国、県、市と自治会、NPO が協力する。木製看板は自治会を中心に撤去。

3. 取り組み上の反省点、活動の結果生じた課題、その対応方針等

- ・ これまで、沿道の景観形成向上を目的に行政の設置した看板等あるいは民間が設置した看板で既に機能を果たし終え、不用となっているもの、景観を阻害しているものの撤去を進めてきた。今後も不用なものがあれば、撤去活動を進めることは継続していく必要がある。
- ・ しかし同時に撤去することを目的にしているように見えるという声も多く、地域に寄与する看板デザインの提示、集合化などへの提案が求められている。特に民間施設は、看板により存在をアピールし、自らの施設に来訪客を誘導しているため、看板は不可欠である、という認識が強い。
- ・ 従って、早い段階で集合看板の設置や統一案内サインの設置、さらに沿道の景観形成ガイドライン、ルール化案のなどを検討しないと、活動が続かなくなる状況も想定される。
- ・ そのためには、景観ワークショップ会議でこれまでの成果をふまえ、今後の上記にかかる事業・活動の推進を議論し固めていく必要があり、ぐるり富士山風景街道としても、この朝霧地区の活動は、全体のモデルとなる活動でもあるので、積極的に支援する体制をもっていきたいと思っている。
- ・ しかしながら、これらを実施するための財源（予算）が確保できず、またぐるり・富士山風景街道は 11 市町村で構成されかつ山梨県と静岡県であるため、2 つの県と 11 の市町が共通で取り組める事業を行うことが主である。富士宮市の朝霧地区における活動については個々が行う活動として位置づけられるため、今後、山梨県の事務局とも調整し改善していきたい。

4. 問い合わせ先

所属団体：NPO 法人地域づくりサポートネット

担当者名：高木敦子

電話番号：054-273-8041

メールアドレス：info@shizuoka-t.net

関連HP：http://gururi-fujisan.net/

(参考1) 撤去する広告物

No.	看板名（表示内容）	撤去時期	設置場所	設置者	撤去主体
1	酪農振興啓発看板	3 / 1 1	(国) 139 号根原地先	富士宮市	富士宮市
2	環境美化啓発看板	3 / 1 1	(国) 139 号根原地先	富士宮市	
3	第5見本林	3 / 1 1 前後	田貫湖進入路	白糸財産区	
4	民間看板	3 / 1 1	(国) 139 号畜産試験場北交差点	民間看板	ワークショップ会 議及びアクション ネットワーク
5	まかいの牧場案内看板	3 / 1 1 前後	県道朝霧富士宮線白糸の滝入り口交差点手前	まかいの牧場	
6	立入禁止等	3 / 1 1 前後	(国) 139 号根原集落入口	根原区	
7	歓迎塔	来年度の予定	(国) 139 号山梨県境	県	県

No. 1



No. 2



No. 3



No. 4



No. 5



No. 6

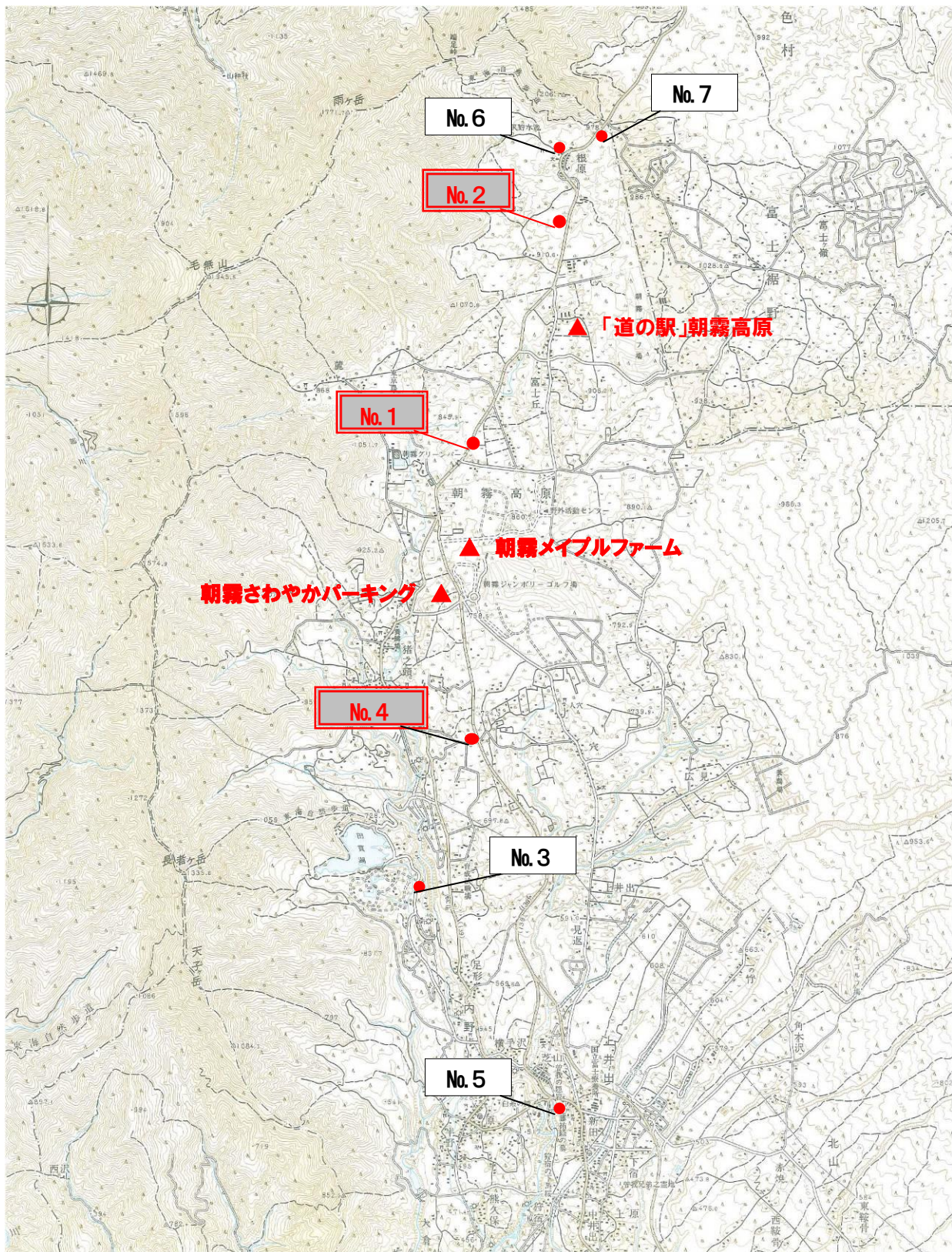


No. 7



(参考2) 撤去看板の位置

 : 3月11日に撤去するものです



3. 活動報告

平成 20 年 3 月 11 日、快晴の天気のもと、④、①、②の看板について、予定どおり撤去活動が行われた。また他の看板についても、2 日後、撤去が確認されている。

3 月 11 日当日は、テレビ 4 社、新聞 4 社の取材があった。

3 月 11 日④、①、②実施、 3 月 13 日③、⑤、⑥確認

④	撤去前		撤去後		作業	
①	撤去前		撤去後		作業	
						
						
						

②	撤去前		撤去後		作業	
③	撤去前		撤去後			
④	撤去前		撤去後			
⑤	撤去前		撤去後			

景観向上へ看板撤去



看板を撤去する参加者—富士宮市猪之頭

富士宮市の朝霧高原で十一日、地域住民、NPO法人、行政などが協力し「朝霧地区景観向上看板撤去作戦」を実施した。富士山や高原などの景観を保全・向上し、景観に対する意識を高揚させるのが目的。

参加したのは、地域住民やNPO法人、企業など。朝霧地区道路路肩形成ワークショップ「アスリート・富士山風景街道アクションネットワーク」の、関係者十五人。国道一三九号沿いに設置され、老朽化していたり、自然景観を阻害したりしていた看板三基を撤去した。今後、山梨県境にある県道の歓迎塔など四基の撤去を予定している。

同会議では、沿道景観を保全・改善する「美しい風景づくり」や道を通じた地域の魅力発信に向け活動している。また、

富士宮 住民、NPO、行政協働

朝霧高原

この作戦は昨年十一月に国土交通省の日本風景街道に登録された「へり」に「富士山風景街道」の活動の一環でもある。

富士山きれいに 不要看板を撤去

富士宮でNPO

富士宮市朝霧地区で、富士山の景観を損ねている国道一三九号沿いの看板の撤去が三月から始まった。市や県、NPO法人などが取り組んでいる「環（へり）」富士山風景街道」の活動の一環。市都市計画課では「不要な看板の撤去を進め、富士山の世界文化遺産登録を少しでも後押ししたい」としている。

現地の景観を調査したNPO法人「地域づくりサポーターネット」によると、朝霧地区では一三九号沿いの看板は一〇〇基は下らず、老朽化したものや内容が重複したものなど、不要な看板が目立つという。

2005年9月、地域住民などを通じ、景観への理解なく、国や県、市の看板も



「環（へり）」は、富士山風景街道」は、道路沿いの景観の美化や地域振興を目的、国土交通省が進める「日本風景街道（シーニック・バイウェイ・ジャパ）」の一環。富士山を周回できる国道一三九、一三九、469号の沿線で、ごみ拾いなどの美化活動や富士山の眺望を生かした環境整備などに取り組んでいる。

対策しており、今後山梨側から県内に入る人を迎えるために県が設置した歓迎塔の撤去も予定している。

撤去には看板所有者の同意が必要だが、具体的な目標は決まっていなかった。サポーターネットの伊藤光雄理事は「景観を統一したり、重複した案内を一つにまとめる工夫の余地はたくさんある。これをきっかけに看板を減らしていきたい」と意欲を見せている。



根原の大型看板を倒す

実施主体は地域住民、りや道を通じた地域のや企業、行政などで組織し、美しい風景づくり、朝霧地区道路路肩形成ワークショップとやる。富士宮市は沿道景観を保全・改善する「美しい風景づくり」や道を通じた地域の魅力発信に向け活動している。また、

絶景阻む看板撤去

朝霧地区で官民が一体

富士宮市北部の朝霧地区で十一日、官民一体となって景観向上を図る「看板撤去作戦」が始まった。目前にそびえる富士山の絶景や、路肩地帯が広がる牧場的風景など、国道一三九号の沿線や周辺地域の魅力的な景観を守る取り組み。実践の第一歩として七枚の看板を対象とする中で、同日は三枚を撤去した。



根原の路肩地帯に設置された看板の撤去作業を行う参加者

朝霧「美しい風景づくり」で不用広告看板撤去

官民一体で

沿道景観の「美しい風景づくり」を推進する「アスリート・富士山風景街道アクションネットワーク」の、関係者十五人。国道一三九号沿いに設置され、老朽化していたり、自然景観を阻害したりしていた看板三基を撤去した。今後、山梨県境にある県道の歓迎塔など四基の撤去を予定している。

富士宮市朝霧地区道路路肩形成ワークショップ「アスリート・富士山風景街道アクションネットワーク」の、関係者十五人。国道一三九号沿いに設置され、老朽化していたり、自然景観を阻害したりしていた看板三基を撤去した。今後、山梨県境にある県道の歓迎塔など四基の撤去を予定している。

撤去した。残りの三枚は今年中に、山梨県境の一枚は四月に撤去する予定。

朝霧地区では二〇〇五年九月に地域住民、企業、行政などが協力し「朝霧地区景観向上看板撤去作戦」を実施した。富士山や高原などの景観を保全・向上し、景観に対する意識を高揚させるのが目的。

撤去した。残りの三枚は今年中に、山梨県境の一枚は四月に撤去する予定。

朝霧地区では二〇〇五年九月に地域住民、企業、行政などが協力し「朝霧地区景観向上看板撤去作戦」を実施した。富士山や高原などの景観を保全・向上し、景観に対する意識を高揚させるのが目的。

撤去した。残りの三枚は今年中に、山梨県境の一枚は四月に撤去する予定。

朝霧地区では二〇〇五年九月に地域住民、企業、行政などが協力し「朝霧地区景観向上看板撤去作戦」を実施した。富士山や高原などの景観を保全・向上し、景観に対する意識を高揚させるのが目的。

撤去した。残りの三枚は今年中に、山梨県境の一枚は四月に撤去する予定。

朝霧地区では二〇〇五年九月に地域住民、企業、行政などが協力し「朝霧地区景観向上看板撤去作戦」を実施した。富士山や高原などの景観を保全・向上し、景観に対する意識を高揚させるのが目的。

居通し

民が交流会

度「地域ふれあい交流会」が21日、富士見ヶ丘集会所で開かれた。77歳以上の高齢者が講座や体操、紙芝居などで楽しいひとときを過ごし、用意された弁当を支那役員らと共に味わった。

家に引きこもりがち

な高齢者に外出の機会を与え、地区住民と交流を図ってもらおうと年に1回開催している。市健康増進課や特別養護老人ホーム高原荘の職員も協力、出前講座やリラククス体操を展示した。女性の会は安養寺に伝わる狸（たぬき）和尚の伝説を紙芝居で上演。感情を込めた豊かな語り口で表現される物語に、参加者たちは楽しげに聞き入っていた。

富士山の日に見板撤去

朝霧高原景観向上活動
県境付近など5カ所

富士山の日、23日、朝霧高原景観向上活動の一環として実施した地元自治会、観光事業者、活動団体、行政、



木製看板をチェーンソーで切断

指導員ら21人が参加。国道139号麓入り口交差点や道の駅朝霧高原、山梨との県境付近など5カ所の看板を撤去した。

入入り口交差点の看板は、観光施設が案内用として設置したが、

ふれあい一座
さようなら

市 疑 速 司 田 遠 春 少 , 0 問 者 げ を な と オ 藤 演 長